



けいちゃん便り



第9号

2011年04月吉日

発行者 桜井けいいち後援会

文責者 沼尾 順市

■東日本大震災復興に向けて、がんばろう日本！



今回の東日本大震災で被災された方々と尊い命を亡くされた皆様に対し、心からお見舞いとお悔やみを申し上げます。宇都宮市においても震度6強を記録し、多くの被災を受けました。生活必需品の不足や計画停電が実施され生活面で大きな影響を受けているだけでなく、原子力発電所事故で安全性が失われ、放射線の影響で日本の将来への不安と今後のエネルギー政策に課題が出ました。一刻も早く普段の生活に戻ることを祈りつつ、節約と節電の生活にご協力賜りますようお願いいたします。

● 本市内においての主な被害状況（3月31日現在）

1) 人的被害（死亡 0人、中等症 4人、軽症 4人）

2) 建物被害（消防本部調べ）

住家被害（半壊403棟、一部破損8,302棟） 合計22,163人

非住家（544棟） その他ブロック塀等（4,152棟） 建物火災（2件）

特に清原地区・河内地域の被害が多く、清原工業団地の企業の工場や住宅、清原中央小学校・清原東小学校や清原体育館等が大きな被害を受けました。

幸いにして、小中学校の児童・生徒が1人もけが人を出さず非難できたことが良かったです。



清原体育館の状況

● 本市内の避難所状況（3月31日現在）公共施設のみ

避難所開設から非難者の人数は少しずつ減っているが、姿川附属体育館や冒険活動センターなどの9施設に、福島県から合計291人の方が避難生活を送っています。

市内の避難者については、大谷自治公民館などに合計5人の避難者がいます。

避難場所によって若干の対応は異なりますが、地域ボランティアの方々のご協力により、炊き出しなどで食料の提供や近隣住宅での入浴サービスなど、様々な支援をいただいています。

● 市議会3月定例会にて災害復旧に向けた緊急予算を可決！

平成22年度既存予算(1億3,000万円程度)

避難所の運営。地区市民センター、公立保育園、体育館等施設の応急修繕、道路の応急修繕など

平成22年度3月補正追加予算(4億1,000万円程度)

見舞金の支給。小中学校の校舎の応急修繕、民間社会福祉施設の修繕への支援など

平成23年度3月補正予算(4億4,000万円程度)

民間賃貸住宅入居者への家賃補助、住宅復興資金の借入れに対する利子補給など

清原中央小、清原東小仮設校舎設置(リース方式)など

● 東日本大震災連絡事務所を設置しました。（後援会事務所内）

桜井けいいち後援会

〒321-2116 宇都宮市徳次郎町46 TEL 028(665)1166

URL:<http://www.keiichi-s.com>

E-mail:sakurai4301@keiichi-s.com

＜本市における被災者に対する支援内容と連絡先＞

■ 災害による瓦、大谷石、がれき、モルタル外壁等の受け入れ先(緊急性の物に限る)

- | | | |
|----------------|---------------|-------------|
| ・ 北清掃センター | 住所 河内町下田原3435 | 電話 672-1997 |
| ・ 南清掃センター | 屋板町330 | 656-2795 |
| ・ 道場宿緑地芝生自由広場南 | 鬼怒川河川敷左岸 | 632-2411 |
- (8:30~12:00 13:00~16:30)

費用は無料、「り災証明書」は必要ありません。 一般家庭の物に限ります。

絆

■ り災証明書の発行(保険の証明、家屋の固定資産税金の減免も)

- ・ 調査については、消防本部予防課 電話 625-5505
 - ・ 証明書発行については、市役所市民課 電話 632-2496、2265、2267
- 各地区市民センター (国本665-1041、富屋665-1663、篠井669-2515) 他
- ・ 証明内容は、(家屋、カーポート、塀等の破損状況) 本人確認のための身分証明書が必要です。

■ 計画停電

問い合わせ先 東京電力栃木カスタマーセンター 電話 0120-995-112

■ 水道水の安全性の確認

問い合わせ先 宇都宮市上下水道局経営企画課 電話 633-3230

■ 放射線量に関すること

問い合わせ先 栃木県環境保全課 電話 623-3188

■ 災害見舞金を拡充

全壊10万円 半壊5万円 一部損壊1万円

問い合わせ先 宇都宮市生活安心課

電話 632-2821

がんばろう日本!

○けいちゃん所感○

例年であれば、桜の花の開花のニュースや新年度のスタートなどで、それぞれの新しい生活が始まる季節であります。今回の大震災で様々な事業等が中止や延期となり社会が縮小的となってきています。いつまでこの状況が続くのか・・・

時期的には難しいかも知れませんが、災害の影響が少ない所から元気を出し、被災地を励まし日本の元気を取り戻すことも必要であると考えます。

今だからこそ、人と人との絆を深め、みんなで、この難局を乗り越えて行きましょう。

選挙戦の遊説車を自粛します!

被災者の皆様に考慮すると共に、公費で支出される費用を災害復興に活用します。

「東日本大震災」募金のご協力

過去には無いM9の大地震と津波、そして原子力発電所の事故により、未曾有の被災を受けました。身近に出来ることのひとつとして募金活動を始めました。皆様のご協力をお願いします。 さくらの会一同